

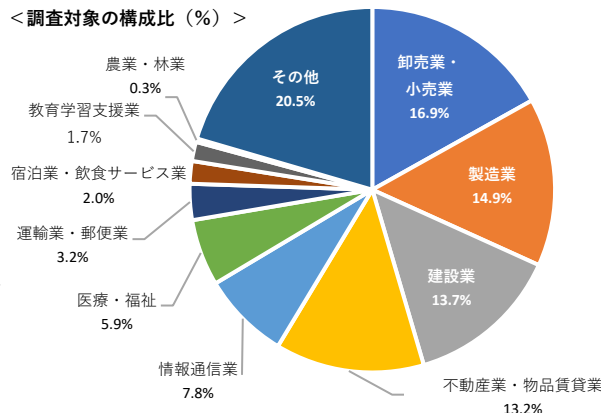
賃上げに関する 中小企業・小規模企業者の意識調査（2025年度）

調査概要

中小企業における賃上げの実施状況や、その背景にある課題・取組について調査する。

- 調査期間：2026年1月23日（金）～1月27日（火）
- 調査方法：オンラインでのアンケート調査
- 調査対象：全国の中小企業・小規模企業者 1,007サンプル
※本調査では賃上げの実施状況および判断の背景を把握するため、代表取締役、取締役・役員を回答者としている

<調査対象の構成比（%）>

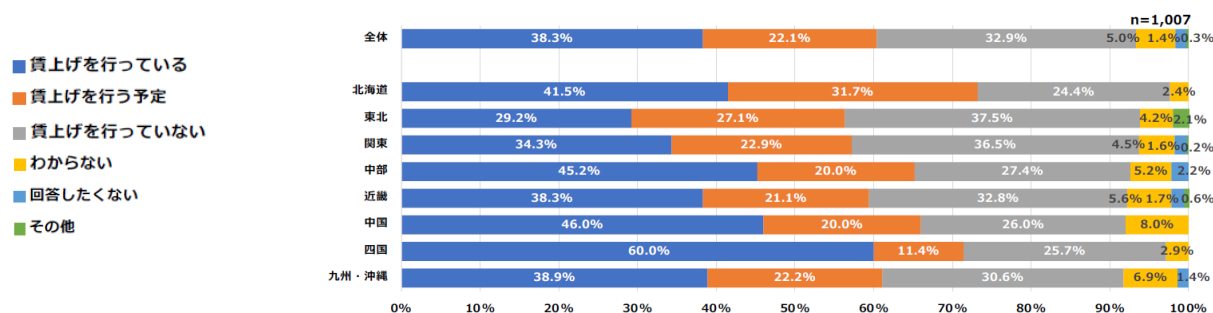


調査結果のポイント

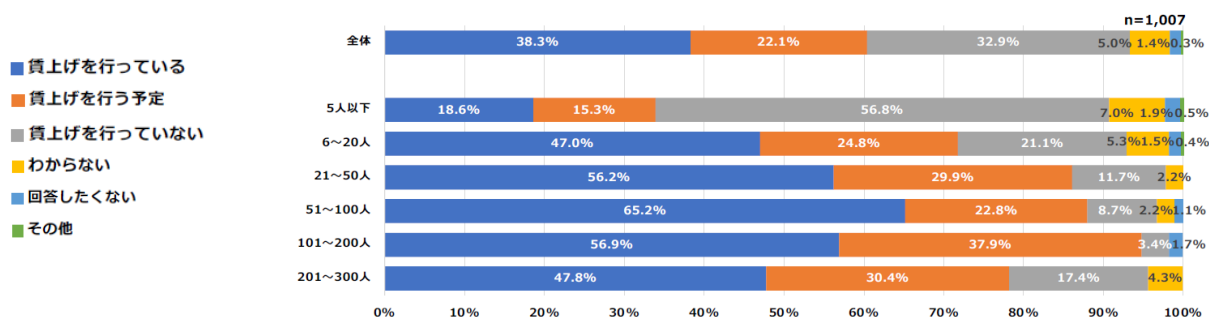
1. 賃上げを行う企業数の割合は、5人以下の企業と5人超の企業とで、大きな差が認められる。
2. 賃上げの目的は「従業員のモチベーション向上」や「人材確保・定着」が中心。
3. 最大の課題は「原資確保」。価格転嫁やコスト削減などの対応が主になっている。
4. 賃上げを継続するためには、補助金・助成金など、資金面での支援を求めるニーズが強い。

(1) 賃上げの現状

<地域別> 「賃上げを行っている」回答者の全国平均は38.3%。北海道・中部・中国・四国・九州・沖縄エリアでは、賃上げに前向きな企業の割合が全国平均を上回っている。

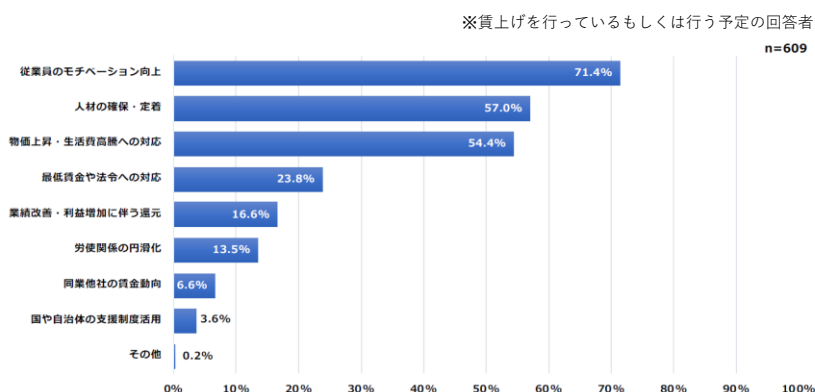


<従業員数別> 従業員5人以下の企業では半数を超える企業が賃上げを行っていない。



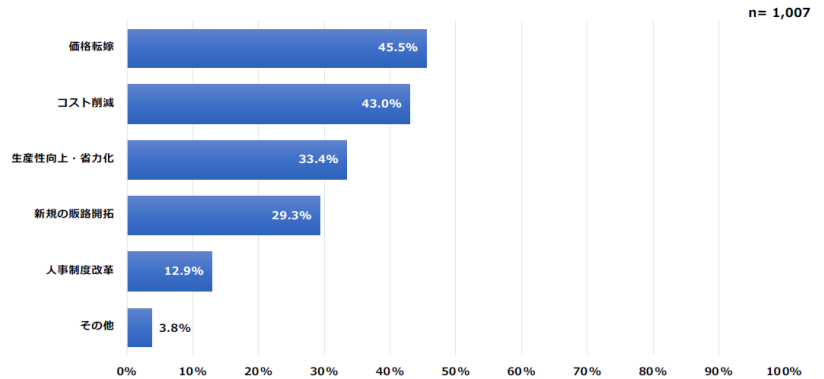
(2) 賃上げを実施する理由

従業員のモチベーション向上や人材確保、物価上昇等への対応を目的として、賃上げを実施する傾向にある。



（3）賃上げに関わる課題

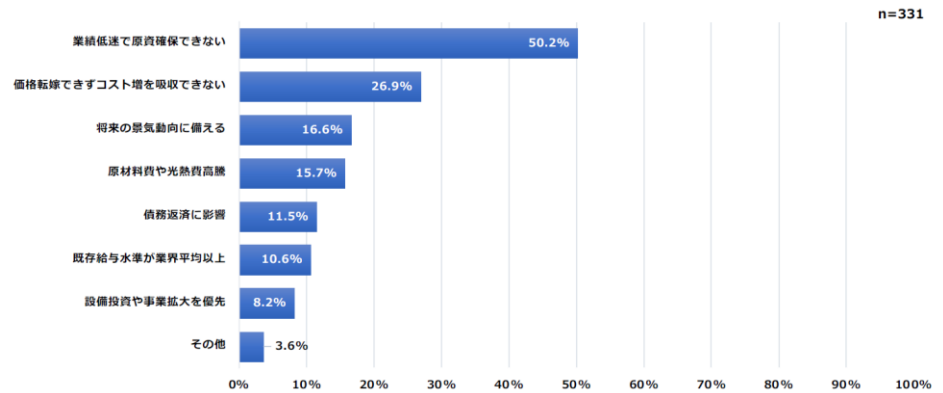
価格転嫁やコスト削減といった賃上げ原資の確保が主な課題にあがっている。



（4）賃上げを実施しない理由

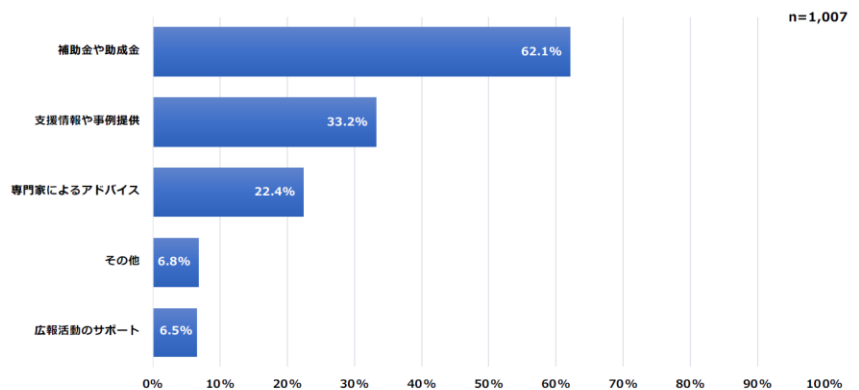
理由は「業績低迷による原資不足」が半数以上となり、収益力の確保が課題となっている。

※賃上げを行っていないの回答者



（5）賃上げを実施・継続するために必要と考える支援

資金面の支援ニーズが突出している。



まとめ：今回の調査から、中小企業・小規模企業における賃上げは、多くの企業で重要課題として位置づけられ、人材確保や従業員のモチベーション向上を目的として、着実に進みつつあることが明らかになった。一方で、業績の低迷や原材料費等の上昇などにより原資確保が難しく、賃上げの実施を見送る企業も少なくない状況にある。特に小規模事業者では状況がより厳しく、格差が顕在化している。アンケートでは、賃上げを継続する上で、収益力の向上に加え、補助金・助成金など資金面での支援を求める意見が多く見られた。